

# 代々木ゼミナール本部校 代ゼミタワー オベリスク

Yoyogi Seminer Main School Yozemi Tower Obelisk

No. 12-008-2010更新  
新築  
学校／集合住宅

発注者	学校法人高宮学園	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所 TAISEI DESIGN Planners Architects & Engineers	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	大成建設株式会社	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

## 新たな都市景観を創造する、安全性と快適性を備えたサステナブルタワー

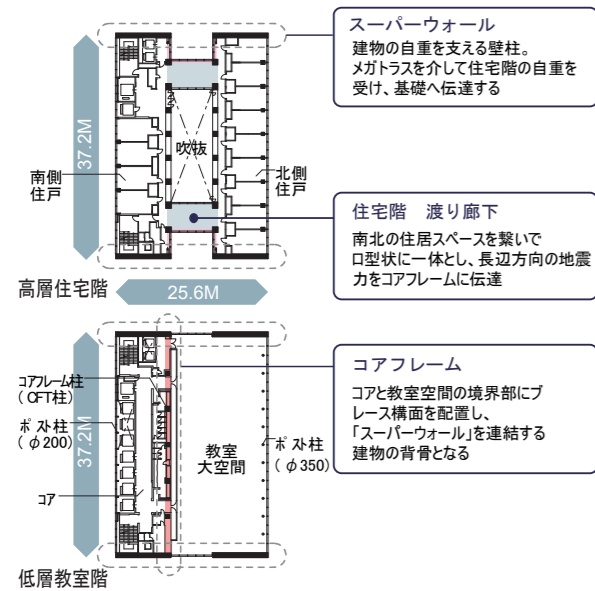
### 構造システムと融合した超高層デザイン

学校、空中庭園、共同住宅からなる超高層タワー校舎である。4枚のスーパーウォールにより構成された構造システムを建築デザインに統合し、フォルムそのものが、この建築の成り立ちを視覚的に示し、新たな都市景観を造り、地域のランドマークとなっている。建物は東西に連層耐震壁を配し、異なるモジュールの高層階と低層階を統合している。教室は採光の安定する北側に、南側は、日射取得熱の緩衝空間となる縦動線シャフトを配し、ドラフト換気を行っている。

### 長寿命建築

超高層建築で初めてセミアクティブ免震システムを採用し、安全性を確保している。外装、内装ともに堅牢素材である御影石、大判磁器質タイル、ステンレスを使用し維持管理費の低減が図られている。

### スーパーウォールにより統合された平面計画



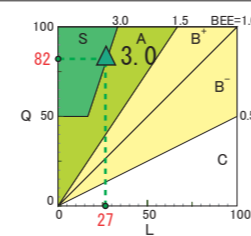
### 設計担当者

統括：芝山哲也／建築：井内雅子、奥石秀人、横地哲也／  
構造：篠崎洋三、藤山淳司／設備：堀雄二、上田泰史

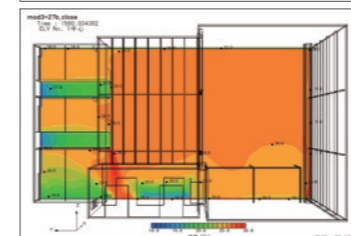
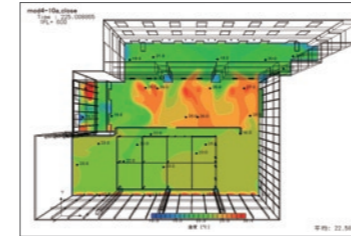


南側全景

建物データ	所在地 東京都渋谷区 竣工年 2008年 敷地面積 3,508㎡ 延床面積 27,175㎡ 構造 SRC造、S造 階数 地下3階、地上26階	省エネルギー性能 PAL削減 10% ERR (CASBEE準拠) 14.7%	CASBEE評価 Sランク BEE=3.0 2006年度版 自己評価
-------	---	---	--



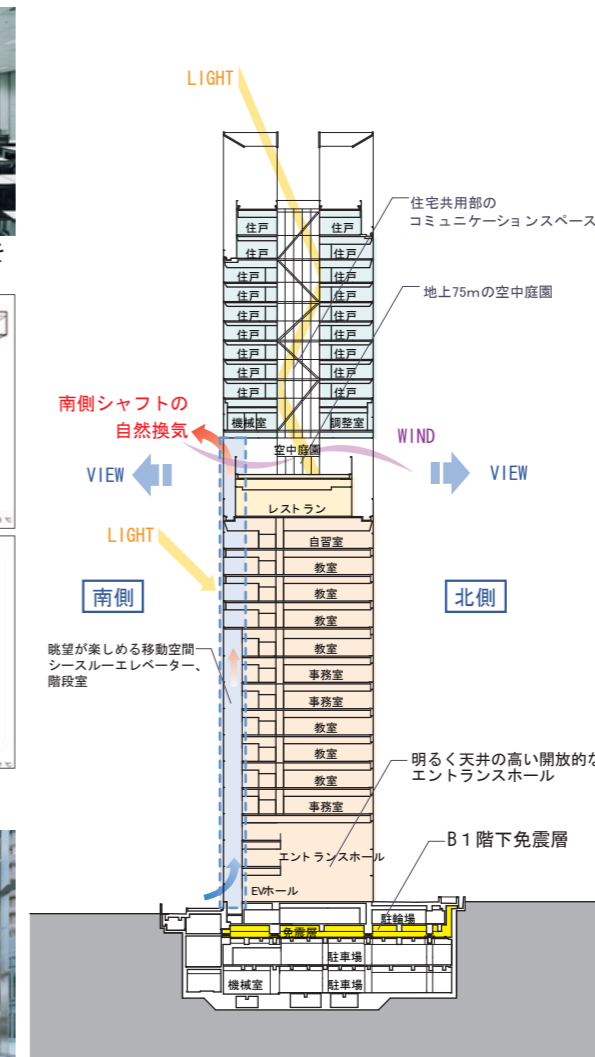
照度センサーによる昼光制御を行い省エネルギーに貢献



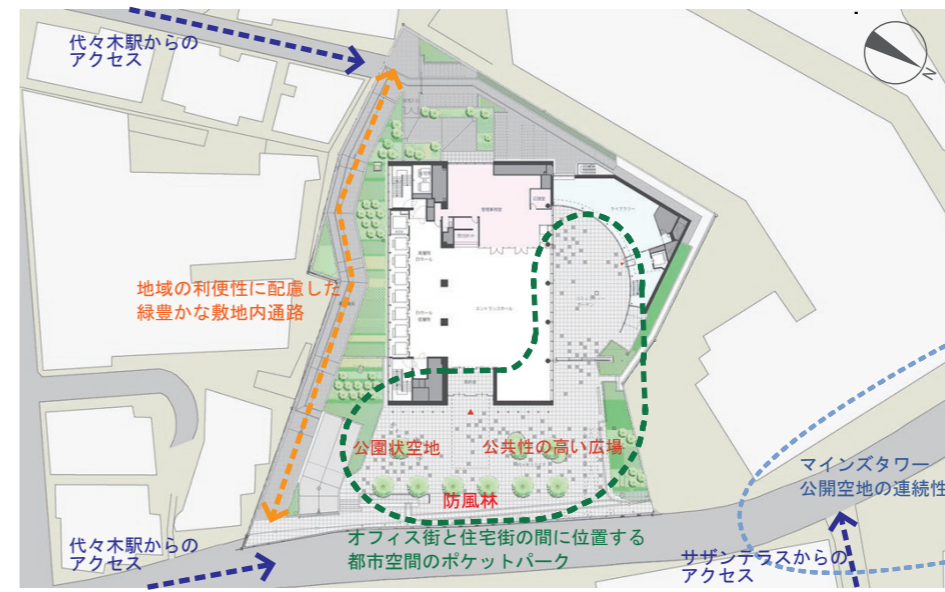
エントランスホールにおける温熱環境シミュレーション



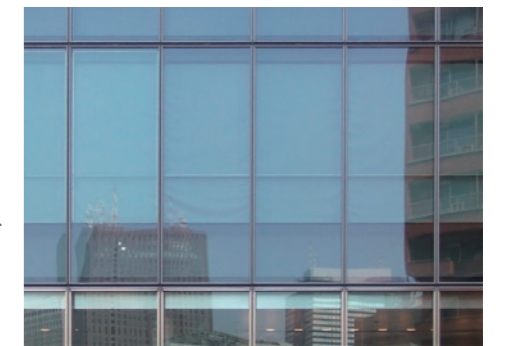
開放的なエントランスホール



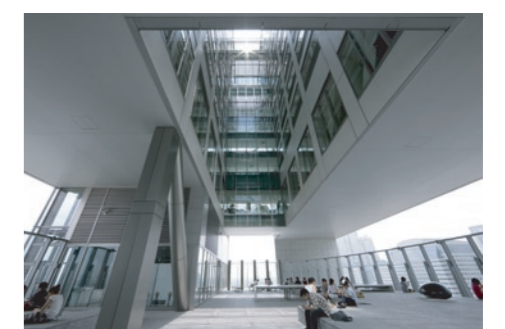
断面図



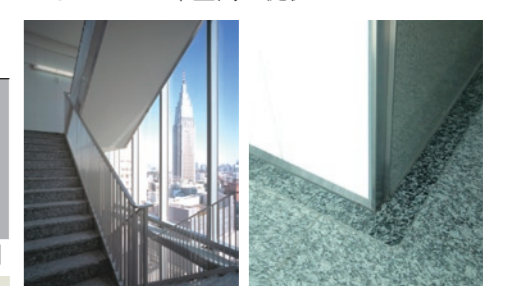
地域の利便性を配慮した配置計画  
緑豊かな空地や貫通路を設け、地域の憩いの場となるポケットパークを提供している



ファサードデザインと低負荷建築の両立  
Low-E<sup>®</sup>アガラスを採用したカーテンウォール



地上70Mの空中庭園  
超高層建築において直接外気や自然光を感じるアメニティ空間の提供



耐用性の高い仕上材を採用した内装  
床に石、壁に大判タイル、SUS巾木を採用



公共性の高い前面空地  
並木は地域の風害を考慮した防風林となる

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2 .2. 耐用性・信頼性 (セミアクティブ免震構造、内外装材仕上材に御影石、SUS、タイルを採用)
- Q3 .2. まちなみ・景観への配慮 (都市軸合わせた配置、地域の新しいシンボルとなるフォルム)
- Q3 .3. 地域性・アメニティへの配慮 (公園状空地、空中庭園)
- LR1.1. 建物の熱負荷抑制 (ダブルLow-Eペアガラス、南側シャフトドラフト換気)
- LR3.2. 地域環境への配慮 (緑化された貫通路、歩道状空地、空地の確保、南北配置)
- LR3.3. 周辺環境への配慮 (防風林の配置)